

コンピュータウイルス・不正アクセスの届出状況について [要旨]

2004年 亜種が多数発生、蔓延状況が続く

独立行政法人 情報処理推進機構(略称:IPA 理事長:藤原 武平太)は、2004年の年間および12月のコンピュータウイルス・不正アクセスの届出状況をまとめました。

1. コンピュータウイルス届出状況

1.1 2004年 年間届出状況 - W32/Netsky が猛威を振るう -

2004年の届出件数は**52,151件**となり、2003年の17,425件から約3倍もの増加となりました。また、届出された検出数の累計は、4月から12月までの9ヶ月間で約2,930万個となりました。(検出数の集計は2004年4月から行っています)

2004年のトピックス

(1) 大量メール送信型のウイルスが猛威を振るう

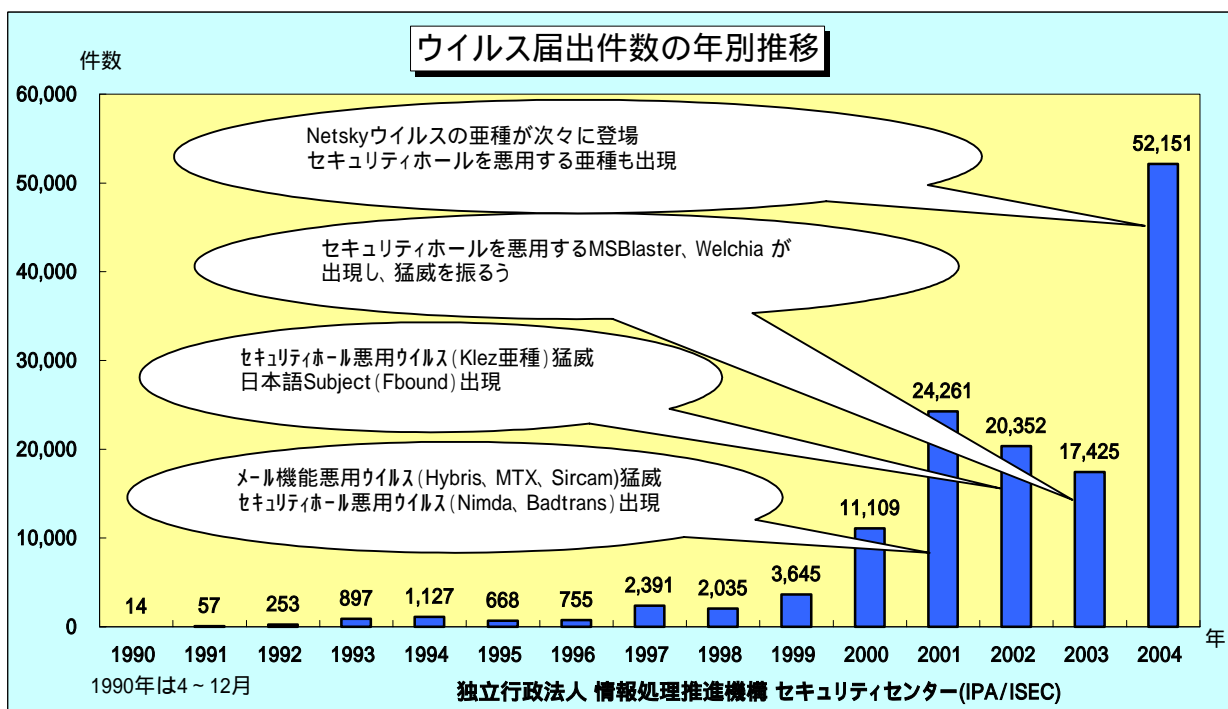
・ 特に W32/Netsky が猛威を振るい3月以降の届出件数が10ヶ月連続でワースト1となりました。

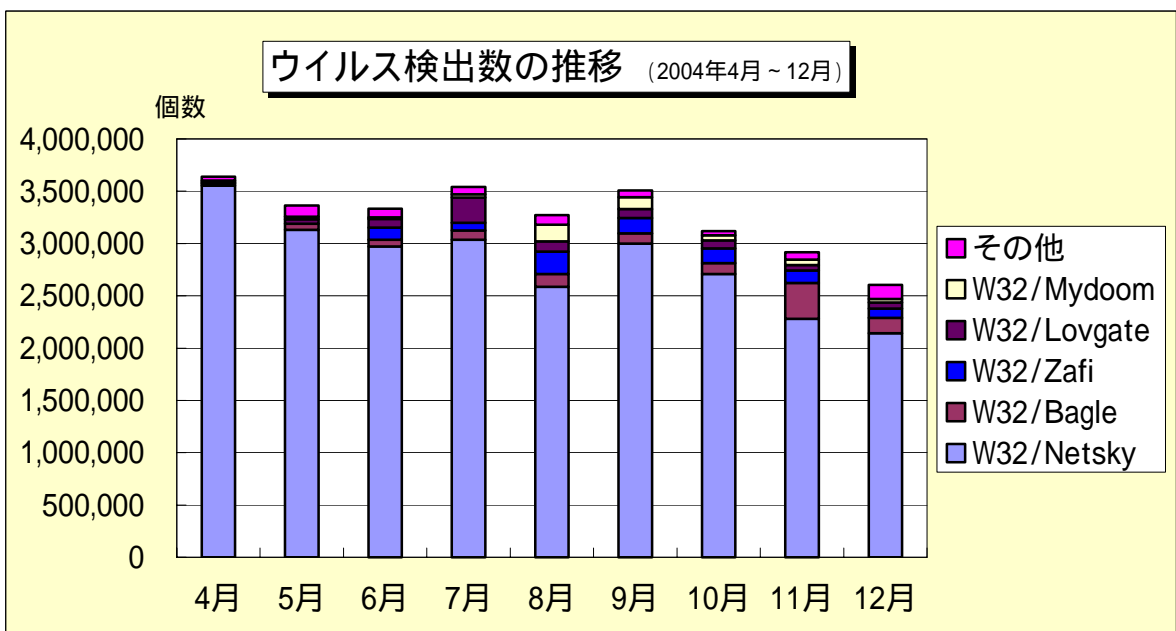
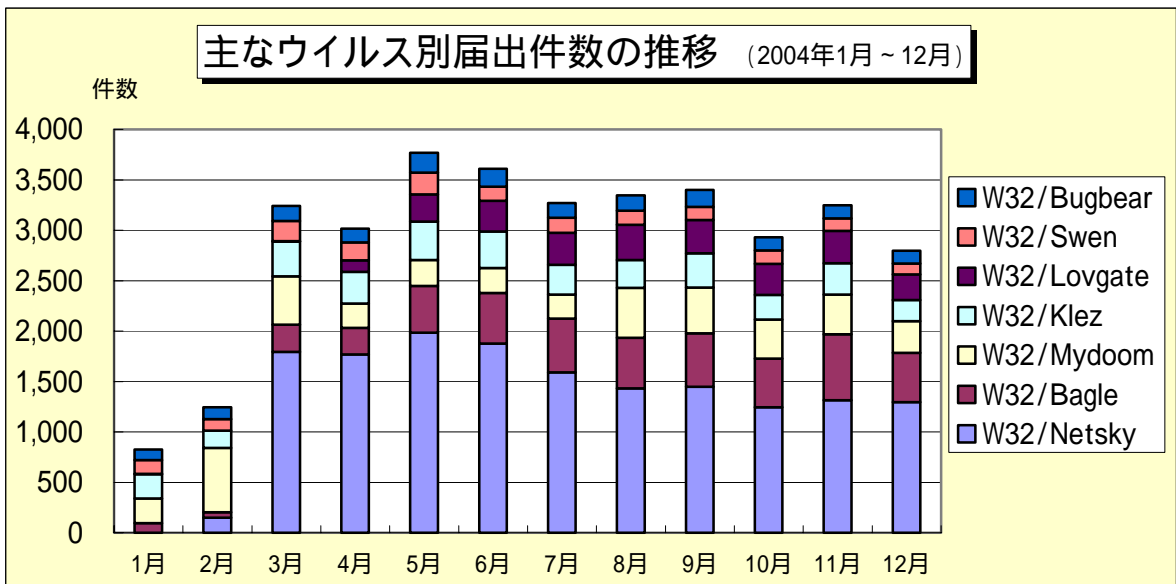
(2) ウイルスの亜種が次々に出現

・ W32/Netsky、W32/Bagle、W32/Mydoom と、それぞれ30種類以上の亜種が次々に出現したため、ウイルス対策ソフトが対応する前に感染が拡大するケースが見受けられました。また、4月以降これら3種類の合計検出数が全体の約9割を占める状況が継続しました。

(3) ユーザの情報を盗もうとする悪質なウイルスの増加

・ フィッシング詐欺を行うウイルスやバックドアを仕掛けユーザの情報を盗もうとする悪質なものが多くなってきました。また、メールの添付ファイルではなく、リンクをクリックするだけで感染する W32/Bofra ウイルスの出現など、ユーザを欺く手口もより巧妙になりました。





届出ウイルス年間ワースト 10

ウイルス名称	2004年	2003年	メール機能悪用	セキュリティホール悪用
W32/Netsky	15,895	-		
W32/Bagle	4,838	-		
W32/Mydoom	4,388	-		
W32/Klez	3,498	4,538		
W32/Lovgate	2,569	165		
W32/Swen	1,776	1,673		
W32/Bugbear	1,727	1,602		
W32/Mimail	1,629	883		
W32/Zafi	1,557	-		
VBS/Redlof	1,162	803		
その他のウイルス	13,112	7,761		
合計	52,151	17,425		

備考：件数には亜種の届出を含む

詳細は別紙1「2004年コンピュータウイルス届出状況」を参照

1.2 12月届出状況

12月の届出件数(*1)は、**4,905件**となり、11月の5,308件から7.6%の減少となり、5千件を下回りました。なお、ウイルスの検出数(*2)も、**約260万個**と、11月の約292万個から10.9%の減少となりました。

*1 届出件数：同じ届出者から寄せられた届出の内、同一発見日で同一種類のウイルスの検出が複数ある場合は、1日何通(個)でも届出1件としてカウントしたものを。

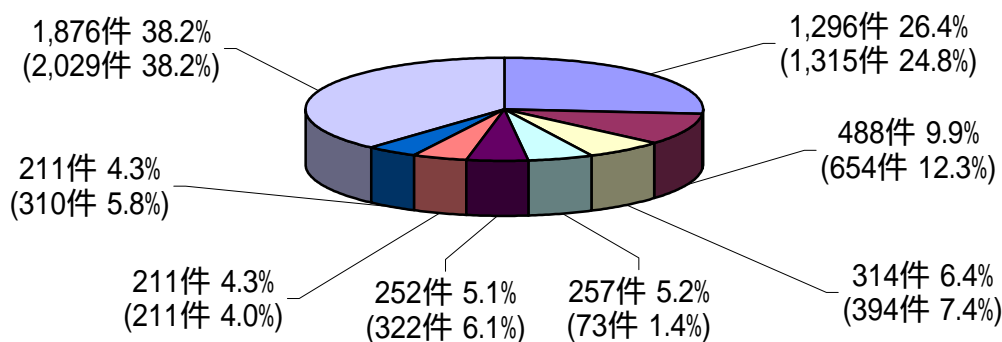
*2 検出数：届出にあたり届出者から寄せられたウイルスの発見件数(通数)

・12月は、寄せられたウイルス検出数約260万個を集約した結果、4,905件の届出件数となっています。

ウイルス別の届出件数の上位は、**W32/Netsky 1,296件**、**W32/Bagle 488件**、**W32/Mydoom 314件**となりました。

ウイルス届出件数 4,905件(5,308件) 前月比 -7.6%

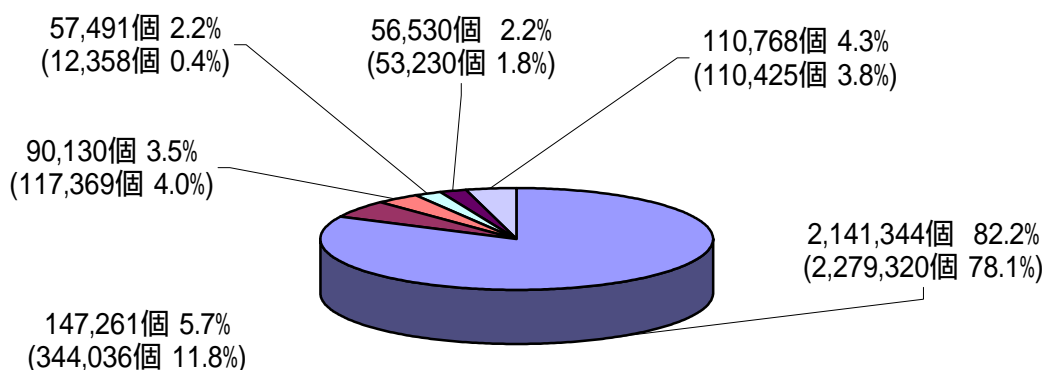
(注：括弧内は前月の数値)



■ W32/Netsky
 ■ W32/Bagle
 ■ W32/Mydoom
 ■ W32/Sober
■ W32/Lovgate
 ■ W32/Zafi
 ■ W32/Klez
 ■ その他

ウイルス検出数 260万個(292万個) 前月比 -10.9%

(注：括弧内は前月の数値)



■ W32/Netsky
 ■ W32/Bagle
 ■ W32/Zafi
 ■ W32/Sober
 ■ W32/Lovgate
 ■ その他

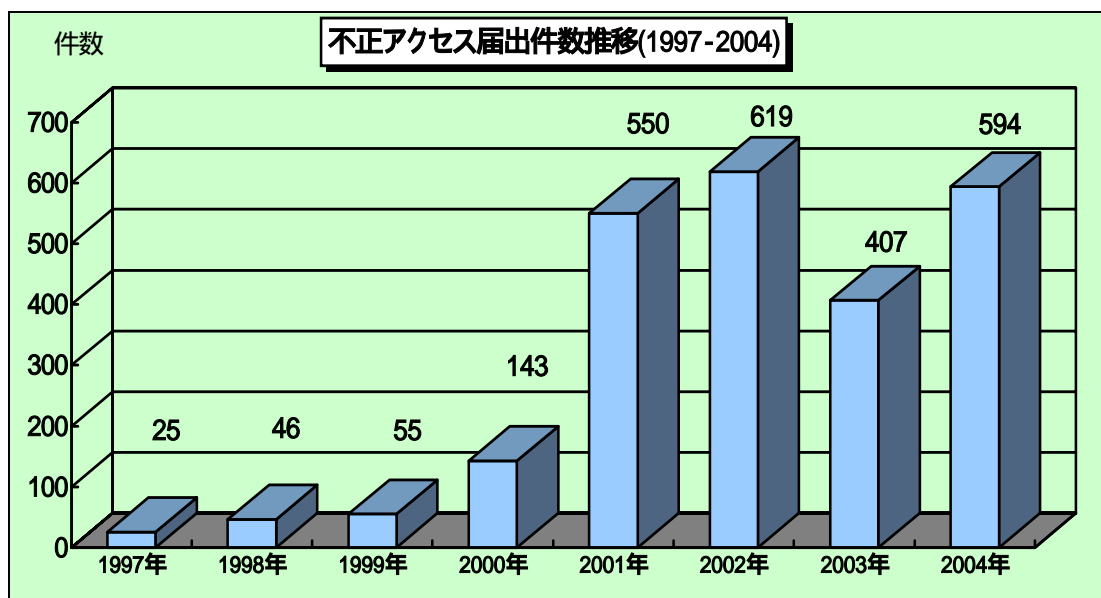
2. コンピュータ不正アクセス届出状況

2.1 2004 年年間届出状況

2004 年の 1 年間の届出件数は 594 件で、2003 年の届出件数(407 件)と比べて 45.9% 増と再び増加に転じました。しかし、**実被害件数は 72 件**と、2002 年の 225 件、2003 年の 126 件から更に減少しました。

届出件数が増加した原因としては、**無差別に攻撃が行われることにより企業・個人ユーザ問わず攻撃を受けている**ことが推測されます。そのような状況の中、被害届出が減少した理由としては、企業を中心にセキュリティ対策が普及していることが推測されます。

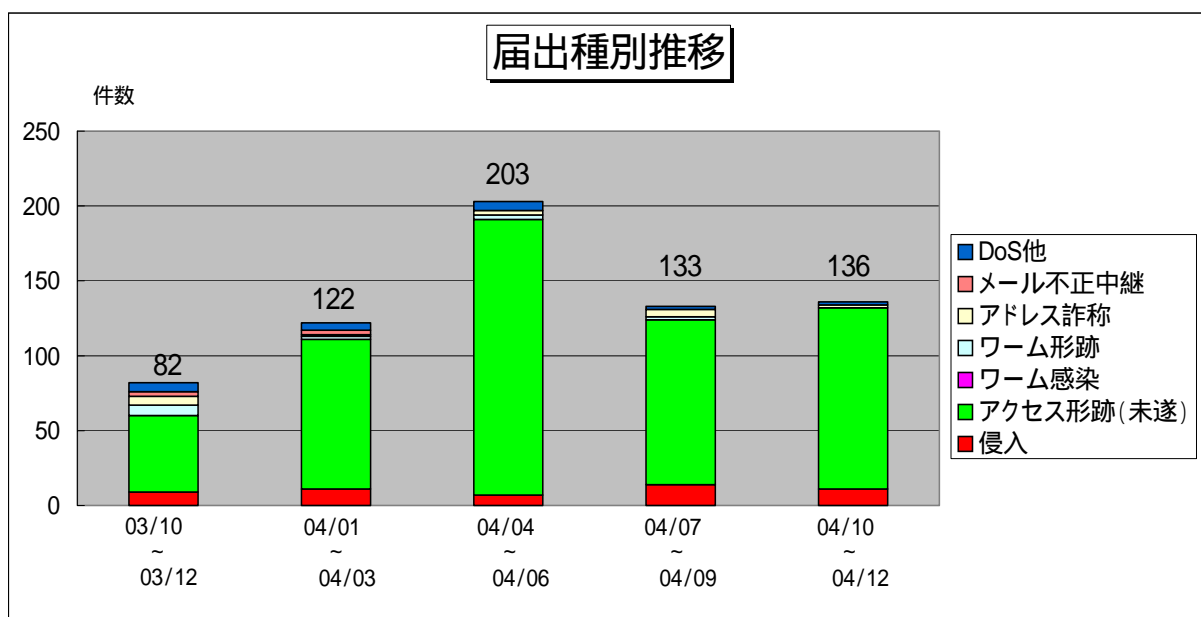
一方、ブラウザのスタートページを書き換えられるなどの被害に関する相談が個人ユーザから多数寄せられており、**個人ユーザにおけるセキュリティ対策はまだ不十分である**ものと推測されます。



IPA に届けられた 594 件の届出種別は以下の通りです。

届出種別	2004 年	2003 年
侵入	43(43)	64(64)
アクセス形跡(未遂)	515	239
ワーム感染	0	5(5)
ワーム形跡	7	39
メール不正中継	3(3)	9(9)
アドレス詐称	11(11)	18(18)
DoS(サービス妨害)	4(4)	8(8)
その他	11(11)	25(22)
合計	594(72)	407(126)

*括弧内は実被害件数



詳細は別紙 2「2004 年不正アクセス届出状況」を参照

2.2 12 月届出状況

2004 年 12 月度の届出件数は 55 件と、11 月(28 件)よりも増加し、再び 50 件を超えました。しかし、被害届出件数は 4 件と 11 月(8 件)よりも減少しました。被害届出 4 件はすべて侵入で、その内容は Web 改ざんが 2 件、サーバーの不正利用が 2 件でした。

3. 今月の呼びかけ：「Update 管理を確実に！！」

ウイルス対策ソフト、Windows、etc

パソコンを立ち上げたら、ウイルス対策ソフトや Windows などのアップデートを行い、感染を防止しましょう。

2004 年は、W32/Netsky を中心に、メールを介して感染を拡大するウイルスが蔓延しました。従来のメールの添付ファイルを開くことにより感染するタイプに加え、メール本文のリンクをクリックしただけで感染する新しいタイプも出現しており、メールの扱いにはより注意が必要な状況にあります。

2005 年も、新たなセキュリティホールへの公開、それを悪用する新種ウイルスの出現が考えられます。

感染被害を未然に防ぐために、**ウイルス対策ソフトの活用**、**セキュリティホールの解消**など、**予防対策を継続**して行ってください。

ウイルス対策関連情報

「ワクチンソフトに関する情報」

<http://www.ipa.go.jp/security/antivirus/vacc-info.html>

「メールの添付ファイルの取り扱い 5 つの心得」

<http://www.ipa.go.jp/security/antivirus/attach5.html>

「ウイルス対策 7 ケ条」

<http://www.ipa.go.jp/security/antivirus/7kajonew.html>

セキュリティホールの解消方法に関する情報

「Windows Update 利用の手順」(マイクロソフト社)

<http://www.microsoft.com/japan/security/square/guard/a04g11.asp>

「ソフトウェアアップデート」(アップルコンピュータ)

<http://www.apple.co.jp/ftp-info/>

「日本の Linux 情報」

<http://www.linux.or.jp/>

お問い合わせ先

独立行政法人 情報処理推進機構 セキュリティセンター

花村 / 加藤 / 内山

Tel: 03-5978-7527 Fax: 03-5978-7518 E-mail: isec-info@ipa.go.jp